

心のつながりシート



作品でつなげる心と心 ～特別支援学校と小学校との作品交流～



絵は東京都立羽村特別支援学校の子供たちが作成しました。

詩は、絵を見た松林小学校の6年生が作成しました。

私はスイカが大好きだ。
ある日友達からもらったスイカで、
スイカ割りをすることにした。
「もう少し前よ。」
「少し左だ。」
家族の声がビーチにひびく。
私はおもいきり棒をふった。
「ええい。」
「パカッ」
まろがいない。今のはスイカが割れた音
だった。私は喜んだ。
そのスイカの中はまるで真紅に輝く太陽のようだ。
「いただきます」シャクシャクとおいしそうに
私は食べた。幸せな味だ。私はおもわず、
プリンセスもびくびくする味だと考えた。
公園でたくさん遊んでまたお腹がすいた。
家に帰って白米にお肉、デザートにアイス。
食べ物だらけの一日だった。

本校では、東京都立羽村特別支援学校（以下、羽村特別支援学校）と隣接しているよさを生かし、全学年で多様な交流を行っています。6年間の交流の集大成として、羽村特別支援学校の児童が描いた作品に対し、本校第6学年児童が作品の印象を詩に表現する活動を行ってきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、直接の交流ができていませんでした。しかし、詩の活動は作品を通しての交流のため、今年度も実施することができました。

本校第6学年児童は、羽村特別支援学校の児童が作成した絵から想像を巡らし、言葉を紡いでいきました。完成した作品は、絵と詩を一緒にして、羽村特別支援学校と本校両方で掲示します。

絵と言葉で同じイメージを共有することで、互いを理解し、尊重する心を育んでいってほしいと思います。